



“ふくし”ってなんだろう？

## 夏休みふくし教室

夏休みの課題作文の  
題材探しのヒントに!



昨年に続き、「夏休みふくし教室」を開催します。「ふくし」への理解を深めるきっかけづくりとして、さまざまな福祉体験を企画しました。

夏休みを利用して、ボランティアにチャレンジしたい!などの相談も受付中です。お気軽にお問合せください!

☆下記メニューから、参加してみたいコース(日にち)を選んでお申込みください。

	体験先(コース)	体験日	時間	内容
1	ほのぼのサロン	①7/26(金) ②8/ 9(金) ※1日のみの参加も可	9:30~11:30	会場の準備や片付けのお手伝い、お話し相手、ゲームなど、高齢者との交流。
2	開成町 デイサービスセンター	①7/30(火) ②8/ 6(火) ※1日のみの参加も可	9:00~12:00	レクリエーションのお手伝いやお話し相手など、交流しながら一緒に楽しく過ごしてみませんか?
3	音声訳体験 「声の広報」ができるまで	8/7(水)	10:00~11:30	広報かいせいお知らせ版を音声にして伝える活動「声の広報」。実際にお知らせ版を音声訳する体験。
4	車いすでまち探検	8/8(木)	10:00~12:00	車いすでまちに出かけよう。車いすの使い方を知り、まちの中にどんな思いやりや工夫があるのか探してみよう!
5	はじめての手話	8/9(金)	19:00~20:30	手話にチャレンジ! 自分の名前や生活に役立つ手話を覚えよう!

■対象 町内在住の小中学生

■参加費 無料

■会場 福祉会館

■申込み 電話(Tel 82-5222)または申込みフォームよりお願いいたします。

■持ち物 水筒・タオル・筆記用具

(しめきりは各コースとも開催日の1週間前、定員になり次第しめきり)



(石塚)

『たすけあい』と『思いやり』の優しい心を目指して!

## 第36回 福祉作文コンクール

募集案内

わたしたちのだれもが、自分の住みなれたまちで、安心して暮らししていくためには、一人ひとりがお互いを思いやり、支えあっていくことが大切です。

“ともに生きる福祉社会”が実現するように学校での生活や毎日の暮らしの中で「たすけあい」や「思いやり」の心を育ててほしいと願って、この福祉作文コンクールを実施します。



内 容	福祉に関する作文で、題名は自由。
用紙・字数	【小学生の部】 B4判 400字詰め原稿用紙800字以内 【中学生の部】 A4判 400字詰め原稿用紙1,600字以内 原稿用紙の最初の1行に題名、2行目に学校名・学年、3行目に氏名(ふりがな)を明記してください。(この部分も字数に含めます。)
応募資格	町内在住の小・中学生(町外に通う児童、生徒の応募も可能)
締め切り	令和6年9月2日(金)
提出先	開成小学校・開成南小学校の児童と文命中学校の生徒はそれぞれの担任の先生へ、町外に通う児童・生徒の方は開成町社会福祉協議会事務局へ提出してください(郵送可)。

<お願い>

入賞作品は、町福祉作文コンクール入賞作品集として発行し、うち優秀作品について神奈川県福祉作文コンクールへ応募させていただきます。広報紙等の紙面に作品が紹介される場合がありますので、個人情報保護の観点から、ご本人やご家族・関係者等への十分な配慮をお願いいたします。

※指定用紙・字数以外の作文は、審査の対象となりませんのでご注意ください。

(石塚)